

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和4年3月10日同時配布

令和4年3月10日
国土技術政策総合研究所

「自動運転車への合流支援情報提供システム」 の効果検証実験を公開します ～DAY2 システムの国内初の実験～

高速道路での自動運転については、2025年目途のレベル4市場化を目指して政府全体で取り組んでいます。また、「官民ITS構想・ロードマップ」では、高速道路での自動運転を一層進展させるための重点施策として「高速道路の合流支援情報の提供」を位置付けています。

国土技術政策総合研究所では、自動車と道路が連携してより良い道路交通を実現することを目指した「次世代の協調ITSの実用化に向けた技術開発に関する共同研究」を実施しており、合流支援情報提供システムの実用化に向けた検討を行ってきました。令和2年3月には、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)と連携して、首都高速道路でのDAY1システム(資料1参照)の実証実験を実施するとともに、当該実験で得られた知見やDAY2システムに使用する車両検知センサの技術特性等を踏まえ、DAY2システムの技術仕様を取り纏めたところです。

この度、同システムにより合流支援情報を提供することの効果を検証すること等を目的とした実験を国総研試験走路において実施します。

1. 公開日 令和4年3月16日(水) 午後(※ 時間は追って指定)
2. 実験場所 国土技術政策総合研究所 試験走路(茨城県つくば市旭1番地)
3. 実験概要 「資料2」の通り

※ 公開日には、実験の様子を試験走路の台座(資料3参照)などからご覧いただきます。現地での取材を希望される方は、3月14日 12:00までに別紙に示す事項を記載した電子メールにてご登録願います。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ご来場の際はマスクをご着用頂くとともに、各社1名でお願いいたします。

(問い合わせ先)

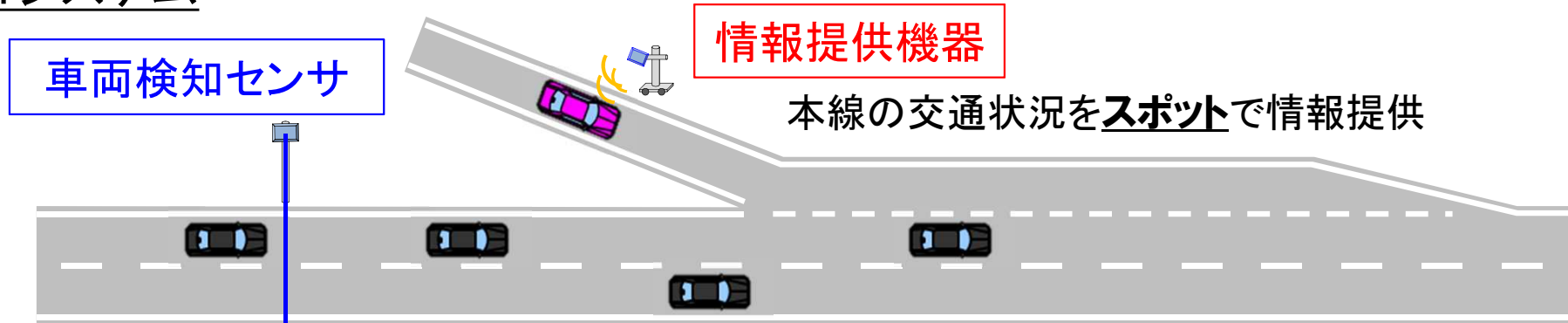
国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 高度道路交通システム研究室
主任研究官 中川 敏正 (内線 3675)

TEL : 029-864-7539 FAX : 029-864-0178 E-mail: nil-itsd@milit.go.jp

合流支援情報提供システムの概要

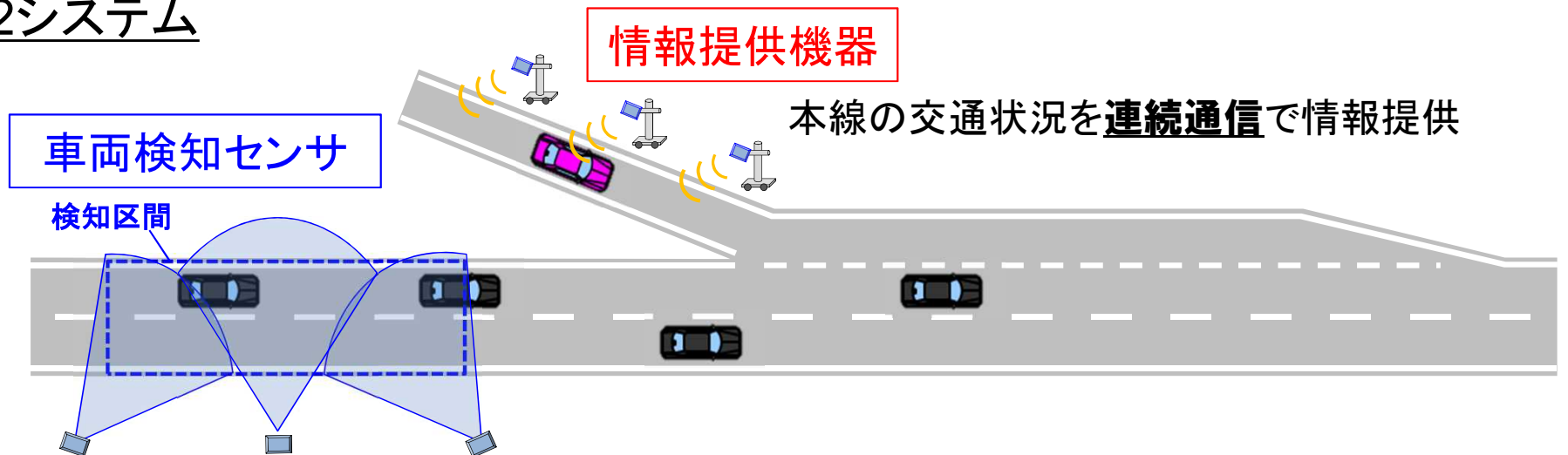
車両検知センサが合流部より上流の本線を走行する車両の速度、車長等を検知し、合流車に情報提供するシステム

DAY1システム



本線車両の走行を断面で検知

DAY2システム



本線車両の走行を一定区間で検知

合流支援情報提供システム（DAY2 システム）の効果検証実験

1 実験の目的

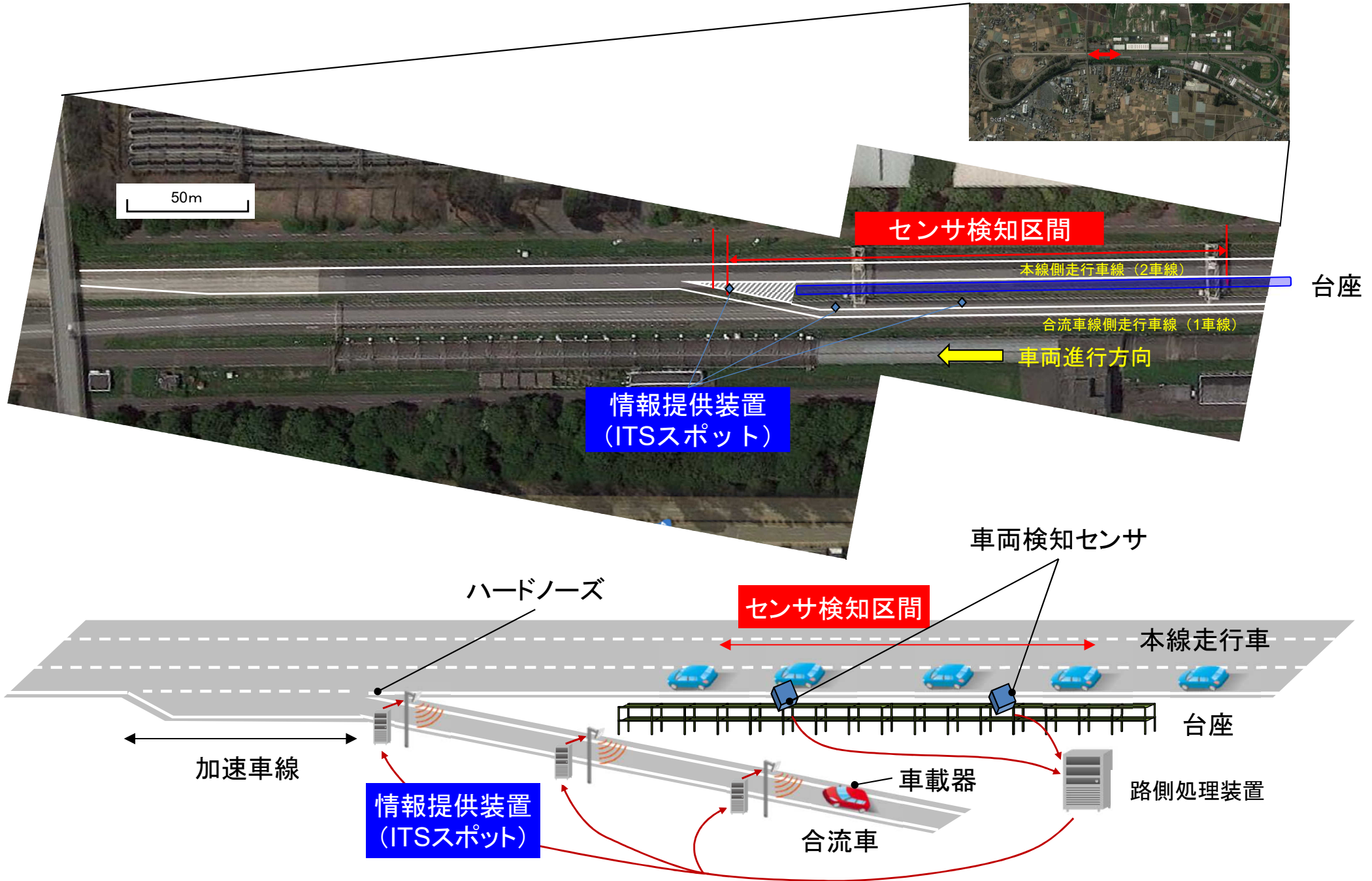
合流支援情報提供システム（DAY2 システム）により合流支援情報（本線走行車両の位置、速度、車間距離など）を合流車に提供することの効果を検証する。

2 実験の概要

- 試験走路に高速道路の合流部を模擬した区間を整備。本線側に車両検知センサ、合流路側に情報提供装置を配置（資料 3 参照）。
- 複数の合流部幾何構造や走行パターンで本線車両を走行させ、「①車両検知センサによる本線車両の検知」⇒「②合流支援情報の生成、合流車への提供」⇒「③合流支援情報に基づく本線合流※」を模擬。
- 本線走行車、合流車の挙動や速度等をビデオ映像や速度センサ等で把握。システムにより合流支援情報を提供することの効果等を検証（結果は 6 月を目途にとりまとめる）。

※ 自動合流を行うための車両制御システムはカーメーカなどにおいて開発中である。このため本実験での上記③は、②で提供される合流支援情報（車内のディスプレイに表示）に基づきドライバーの操作により合流を行う。

DAY2システムの実証実験 レイアウト



別紙

送付先 E-mail: nil-itsd@mlit.go.jp

(国土技術政策総合研究所高度道路交通システム研究室宛て)

メールタイトル: 「取材申込・合流支援情報提供システム」

メール本文の記載事項:

- 会社名・所属
- ご芳名
- 連絡先 (電話番号)